



そんなの
しらない！

© 2020 miHoYo

R-18

ADULT ONLY

ZHONGLI×CHILDE



注意

- ・攻めフェラ表現があります。
- ・断面図あります。
- ・Ver.4.0以前の情報で描いています。

この本は個人的に
作られた非公式ファンブックです。
原作とは一切関係ありません。

無断転載、複製、複写、オークションやフリマサイトへの出品は固く禁じます。
高校生を含む18歳未満の閲覧は禁止です。



ふあ...
あれ...朝...?



ん...



なんか腰痛いし...
何これ...



というかここと…



カッ



え

なんで…

先生が隣で寝てるの!?



ここは
先生の家の…

寝室…かな？



えっと…



…俺も先生も
全裸と



確か昨日は…

先生との宴席で…

いつも以上に
盛り上がって…

それで…



先生なら覚えて…



だめだ
これ以上
思い出せない



あ、起きた？



昨日って…



ん…

おはよう
鍾離先生



え…？



公子殿、おはよう
身体は大丈夫か？



ぽんっ

そうか、無理は
しないように

頭、なで…?

…からだは
腰が痛い…かな?

えあ

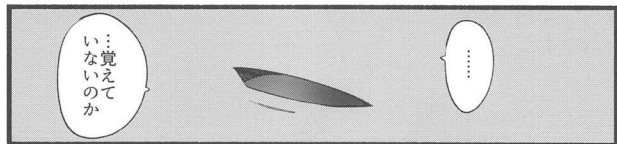


昨日の夜
何があつたか
教えてくれない?



喉も乾いた
だろう
今水を…

そうだ先生



…覚えて
いないのか

…

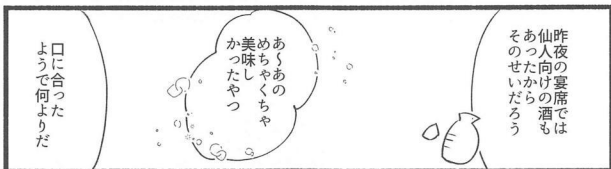


申し訳ない
けど全く

記憶飛ばすような
飲み方したっけ…



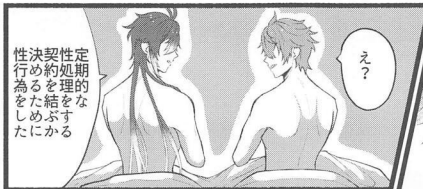
うーん



昨夜の宴席では
仙人向けの酒も
あったから
そのせいだろう

あくあの
めちやくちや
美味し
かったやつ

口に合った
ようで何よりだ



え？

定期的な
性処理をする
契約を結ぶか
決めるために
性行為をした



定期的な性処理をする
契約を結ぶか
決めるために
性行為をした



で、俺は先生と
何をしたの



二回も
言わなくて
いいから

って、先生に
セフレになるか
持ち掛けたの!?

そうだな

嘘だろ…
なんでそれを
覚えてないんだ…

それで公子殿は
俺に契約を…

……

…覚えていないなら
もう一度試すか？

え……？

昨夜の公子殿は…

あは



酔っているな

驚かないね



ねえ、先生って
セフレって興味ない？

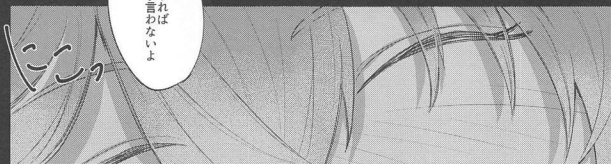
俺としては
後腐れなく
発散したいんだよね

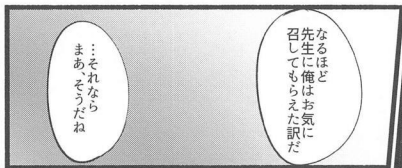
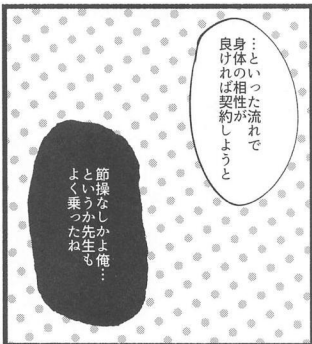
先生相手なら
後腐れなさそうだし
契約さえすれば
絶対に外部に
漏らすこともない

俺は先生の正体も
知っているし頑丈だ

条件としては
良いと思う

ああ、勿論相性もある
一回試して
良かったら
契約しようよ







俺から持ち掛けて
おいて覚えて
いないからって

何もせずに
白紙なんて
不誠実だ

それに清廉潔白な
鍾離先生が
どんな顔で
俺を抱いたかを

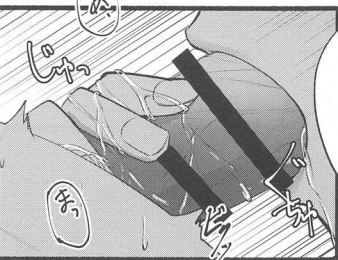
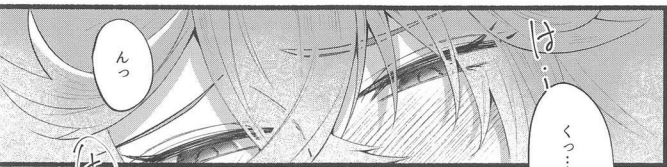
覚えてないなんて
勿体ない



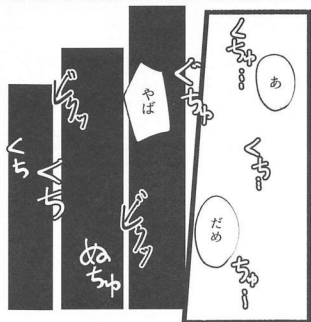
いいよ
もう一回シようか

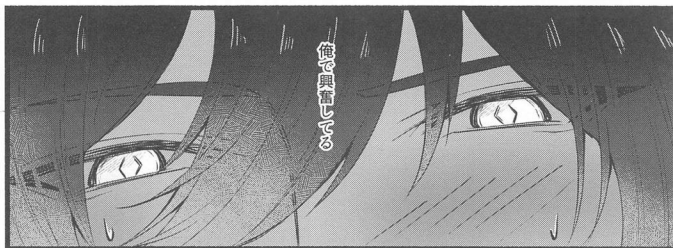
手加減なんて
しないでくれよ

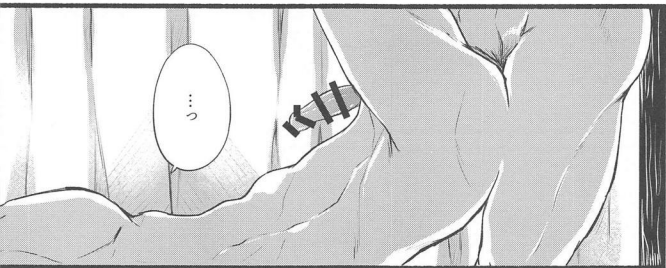
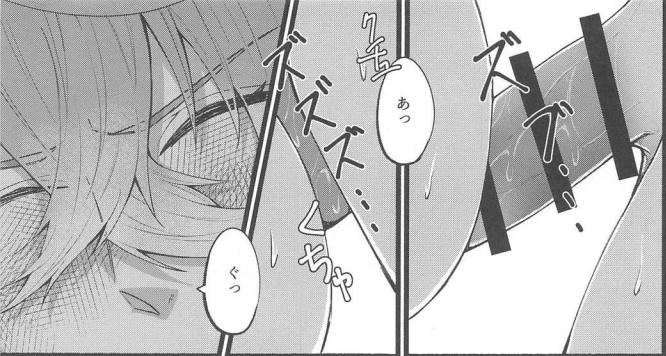


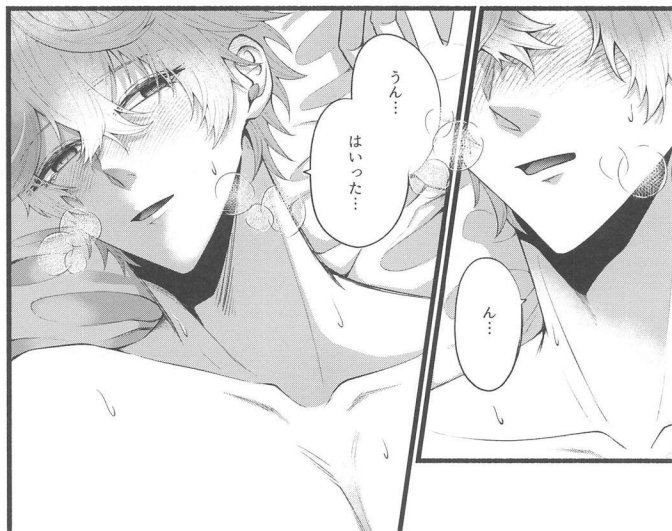














あはは：
俺先生とエッチ
しちゃってる

すごい
俺のナカ
いっばいだ
先生で



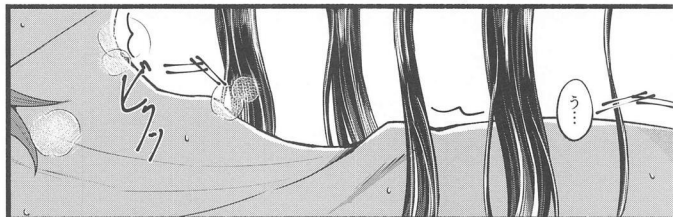
…動くぞ

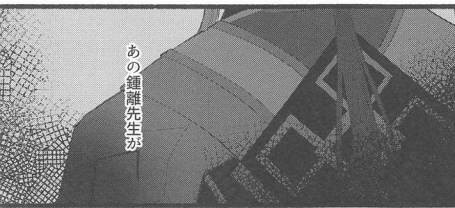
えっ

まっ

ビュッ

ビュッ







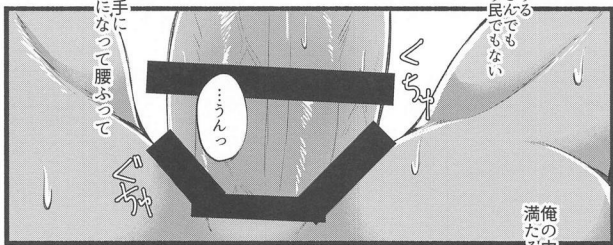
ギッ

ギッ

あつ

鍾離先生に恋する
きれいなお嬢さんでも
岩王帝君を慕う民でもない

俺相手に
必死になって腰ふつて



…うんっ

くちゅ

ぐちゅ

俺の中で欲を
満たさずとしているのに



んう…

まるで大事なものを
扱うように

は…

ただのお試し
だつていうのに

優しく触って

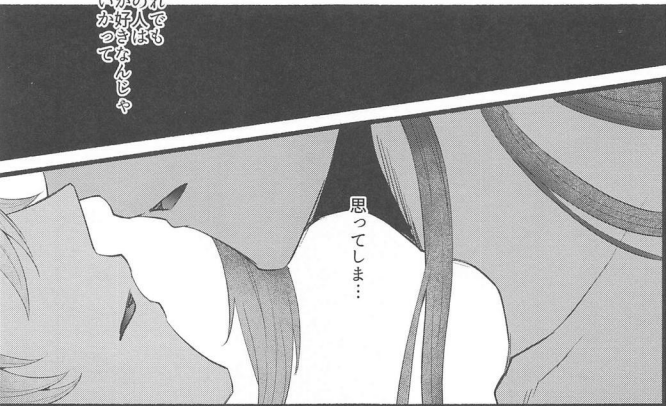


公子殿

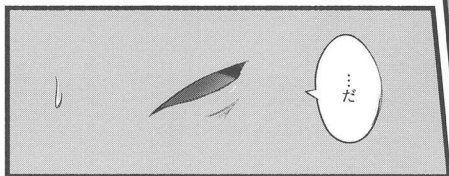
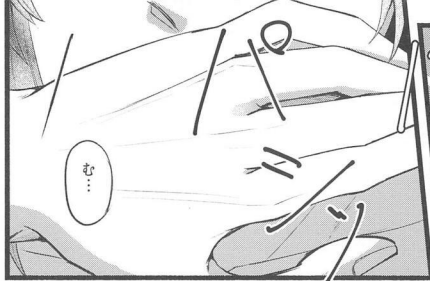
ふんっ

俺じゃなくても
きつと丁寧
抱くんだらう

それでも
この人は
俺が好き
なんじゃ
ないか
って



思ってしまった…





これは
性欲処理なんだ

馴れ合いなんて
いららないだろ



続けるなら
もつと事務的なものを
希望したい


……

詳細は後で
決めるとして
出すもの出して
終わる位が丁度いい

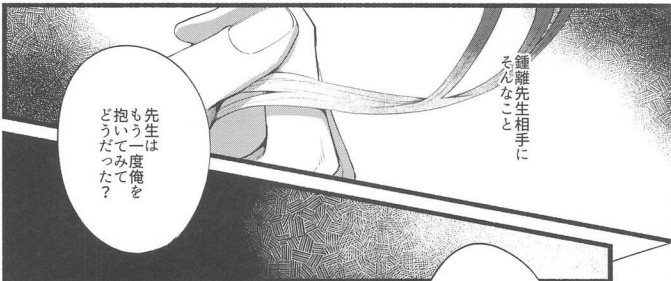
でなければ俺から
言っておいて
なんだけど
この話はなしだ



ね、鍾離先生




俺は先生と
契約しても良いと
思ったよ



鍾離先生相手に
そんなこと

先生は
もう一度俺を
抱いてみて？
どうだった？



酔った俺の方が
好き心地良かったり
するかな

具合が
変わらないなら
俺に付き合つてよ

…公子殿は
そう望むんだな



…いいだろう



そう？じゃあ

俺の中に果食の
気持がなんて



契約しよう

そんなの知らない





すぎだよ



好き



熱に浮かされた
言葉とはいえ
想われているのかと

まさか何も覚えて
いないとは

ままならないな

セフレから始まる鍾タルを描きたいところから始まった話なのですが
長くなりそうだった事ときっかけも描きたくて今回はその部分のみ本にしました。

もう一度と提案したのは鍾離ですがしっかりやることはやったのに
何も覚えてないタルタリヤに振り回されて欲しくてこのような形で始まりました。

そのためセフレが始まっただけなのでこの後の二人については
次の機会にまた本にできたら良いなと思っています。

正直原神で本を出す予定はなかったのですが思ったより鍾タルが沼でした。
あと、まさかフォンテーヌでタルタリヤががつつり出てくるとは思いませんでした。

反省点はたくさんありますが楽しく描くことができました。
お読み下さりありがとうございました！

2023/12/17 倉凧

そんなの知らない！

2023/12/17

VeldeMela/倉凧

mail:kuranagi644@gmail.com

X:@krng_zc

Pixiv:30819873

印刷:株式会社栄光様

そんなの知らない！

Zhongli×Cilde
VeldeMela/Kuranagi
20231217